

ウェブ補論 序章 供給の変化と均衡 (p.22)

ここでは、供給が変化したときに均衡がどのように変化するかについて説明します。本と同様に、財に関する需要・供給の関係が下の表のように表されている状況を考えます。ここですべての価格において供給が2個増えた場合を考えます。この状況は下の表のように示せます。この時、新たな均衡価格は20円になり、また取引量は4個となります。このように、価格以外の要因によって供給が増えると均衡価格は下がり、取引量は増えます。逆に価格以外の要因によって供給が減ると均衡価格は上がり、取引量は減ります。

表 1 供給の増加と均衡

価格		¥10	¥20	¥30	¥40	¥50
需要		5個	4個	3個	2個	1個
供給	(増加前)	(1個)	(2個)	(3個)	(4個)	(5個)
	増加(+2)後	3個	4個	5個	6個	7個

需要の変化と同様に、供給が変化する場合の経済の動きも需要・供給曲線を用いて考えることができます。すべての価格水準において供給が増える場合、次のページの図のように、供給曲線は右方向にシフトし、均衡は右下に移り、均衡価格は下がり、均衡取引量は増えます。

図 1 供給曲線の変化と均衡

